論文原稿の見本

22 字×42 行×2 段＝1 848 字詰

コラム間隔：8 mm　　上マージン：32 mm

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2　　1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2

論 文　記事の種別　14 ポイント（ゴシック体）

トライボロジスト投稿論文用テンプレートの使い方（第 1 報）

—副題—　10.5 ポイント（明朝体）

原稿受付　年　月　日
“トライボロジスト”第　巻　第　号　()　～

12 ポイント（明朝体）
潤 滑 太 郎
ト ラ イ ボ 次 郎
8 ポイント（明朝体）
トライボ大学　○学部○○学科　学科まで
（〒105-0011　東京都港区芝公園 3 丁目 5-8）
○ ○ ○ ○
トライボ大学　大学院生
（同上）
□ □ □ □
トライボ大学　学生
（同上）
△ △ △ △
△△△（株）　△△研究所　部門まで
9 ポイント（Times）　（〒△△△-△△△△　△△△△△）

1 行あける

9 ポイント（Arial）

Abstract

30 mm

A short abstract (150 - 200 words) should be described here in English. Please use the font of “Times, 9 point”. The purpose of an abstract is to give a clear indication of the objectives, scope, and results of the paper so that readers may determine whether the full text will be of particular interest to them.

1 行あける

章番号は半角文字で左寄せ，ピリオドは全角文字

1．はじめに

12 ポイント（ゴシック体）

1 カラムは 22 文字×42 行　1 行あける

本論文原稿の見本には，論文・速報論文を作成する際の注意点を記してあります. 執筆に先立ち，記載事項を確認して下さい.

10.5 ポイント（明朝体）

見出しの先頭は揃える　1 行あける

2．基本設定（章の見出しが長い場合は 2 行目の先頭を揃えます）

1 行あける

用紙サイズは A4 縦, 余白は上 32 mm, 下 20 mm, 左右 18 mm に設定してあります. 三つのセクションに分割してあり，1 番目は表題と著者名および所属, 2 番目はアブストラクト, 3 番目は本文です. 英文の表題，著者名，キーワードは，本文とは別に，第 1 ページ下部のテキストボックス内に記入しています.

フォントおよび段落の設定は，スタイルに登録されていますので，これらを使用して下さい．なお，一部のみ変更したい場合には，スタイルの変更ではなく，変更したい部分を個別に選択して，設定を変更して下さい.

1 行あける

3．表題等の書き方

章の見出し：上下に 1 行確保

1 行あける

節番号は半角文字で左寄せ，ピリオドは半角文字

本章では，本文を除いた，表題，副題，著者名，所属，住所，キーワードを記入する際の注意点について説明します.

10.5 ポイント（ゴシック体）
節の見出し：前の文章との間に空行を入れない
行を替えて本文を続ける

3.1□表題

論文もしくは速報論文の内容を的確に表す表題（和文）を，記事の種類の下に 40 文字以内で付けて下さい．その際，省略形は避けて下さい．表題に第 1 報，第 2 報などを用いる場合には，必ず内容を表す副題を付けて下さい. 副題は, 行を改め, 前後にハイフン（—）を付けて 22 文字以内で記入して下さい.

和文表題に対応した英文表題を，第 1 ページ下部のテキストボックス内に記述して下さい．和文の副題がある場合には，改行して，対応する英文副題を記入して下さい．第 1 報，第 2 報などは，それぞれ Part l，Part 2 などとし，英文表題末尾に

How to Use the Research Paper Template for Journal of Japanese Society of Tribologists (Part 1)

—Subtitle—　9 ポイント（Times）　12 ポイント（Times）

By Taro JUNKATSU, Jiro TRIBO, Department of ○○, Faculty of ○, Tribo University (5–8, Shibakoen 3–chome, Minato–ku, Tokyo 105–0011) , ○○○○, Student, Graduate School, Tribo University (ditto), □□□□, Student, Tribo University (ditto) and △△△△, △△ Research Center, △△△Co., Ltd. (△△△△△ △△△–△△△△)

Key Words: *tribology, instruction, template, camera-ready format, research paper*

5〜10 語を選定
固有名詞，省略形（略語）を除いて小文字で表記
省略形（略語）はその分野で広く通用しているもののみ使用可

左マージン：18 mm　　下マージン：20 mm　　右マージン：18 mm

10.5 ポイント（ゴシック体）
項の見出し：前の文章との間に空行を入れない
2 こまあけて本文を続ける

見出しの先頭は揃える

記述して下さい．

英文表題，英文副題の記入では，各単語の先頭の文字は大文字にして下さい．ただし，冠詞，前置詞，接続詞は，表題，副題の第 1 単語になる場合を除き，先頭の文字を小文字にして下さい．

3.2□著者名，所属，住所（節の見出しが長い場合は 2 行目の先頭を揃えます）

3.2.1□和文□□全ての著者について，著者名，所属，住所を順番に記入して下さい．その際，連続する著者（例えば，筆頭著者と第二著者）の所属と住所が同一の場合には，著者名を続けて記入した後，所属，住所を記入して下さい．著者名，所属，住所のそれぞれの記入に際しては，次の点に注意して下さい．

和文著者名は，漢字，ひらがな，カタカナで記入して下さい．

和文所属の記入では，機関名の後に一文字分スペースをあけて部門まで記入して下さい．学部学生，大学院生の場合には，大学等の名前の後に 1 文字分スペースを空けて，それぞれ「学生」，「大学院生」として下さい．所属がない場合には，「元」を付けて以前の所属を記入することも可能です．また，所属に代えて名誉教授等の称号を記入することも可能です．

和文住所の記入では，直前に記入された住所と同一の住所の場合には，「同上」と記入して下さい．

3.2.2□英文（項の見出しが長い場合は 2 行目の先頭は 1 カラム目です）□□和文に対応させて英文の著者名，所属，住所を，英文表題もしくは英文副題の後に改行して記入して下さい．記入に際しては，次の点に注意して下さい．

英文著者名は，ファーストネームは先頭の文字のみを大文字とし，ファミリーネームはすべて大文字として下さい．

英文所属の記入では，和文と対応するようにして下さい．学部学生，大学院生の場合には，それぞれ，「Student, *** University」，「Student, Graduate School, *** University」のように記入して下さい．

英文住所の記入では，英文所属の後に，前後を括弧 ( ) で囲んで，和文と対応する住所を記入して下さい．和文において「同上」と記入した場合には，「ditto」として下さい．

3.3□アブストラクト

論文および速報論文のアブストラクトを 150～200 Words の英文で記入して下さい．アブストラクトでは字下げおよび改行は行わないで下さい．なお，アブストラクトでは本文中の図表，式や文献などを引用することはできません．また，化学式や省略形（略語）は初出の箇所で正式名称またはフルスペリングを，量記号は初出の箇所でその説明を併記して下さい．

3.4□キーワード

第 1 ページ下部のテキストボックス内に，5～10 語の英語によるキーワードを記入して下さい．その際，固有名詞，省略形（略語）を除き小文字として下さい．

キーワードの選定については，具体的な意味をもつ名詞形で，できるだけ狭義の意味をもつ語句を選んで下さい．省略形（略語）については，その専門分野で広く通用しているものに限り使用可能です．それ以外はフルスペリングで記入して下さい．また，元素名，化合物名，合金名，量記号等は正式名称またはフルスペリングで記載して下さい．

1 行あける

4．本文の書き方

1 行あける

4.1□本文の区分と見出し

本文の区分は，章，節，項の 3 段階で，それぞれ 1. ，2. ，・・・，1.1，1.2，・・・，1.1.1，1.1.2，・・・のように番号を表示した後に見出しを記入します．なお，見出しは，できる限り一行に収まるようにして下さい．

章，節，項を記入する際には，スタイル [章見出し] ，[節見出し] ，[項見出し]を設定して下さい．これらを使用することで，章番号，節番号，項番号が自動的に振られます．

章，節については，見出しの後に，改行を入れてから本文を記入して下さい．項については，見出しの後に二文字分スペースを空けて本文を始めて下さい．なお，スタイル [項見出し] のフォントは，本文と同じ明朝体に設定されていますので，項見出しを選択し，手動でフォントをゴシック体

図表は最上段もしくは最下段にまとめて（文章が途中で中断されない位置に）割り付ける

の太字に変更して下さい．

4.2□本文

本文は，段落の始めは 1 文字，字下げして書き始めて下さい．句点はピリオド（．），読点はコンマ（，）を使用して下さい．本文は，左右の段が揃うように表記して下さい．最終ページでは，左右の段の最下行を揃えて下さい．文中の数字，アルファベットとギリシア文字の表記には半角文字を使用して下さい．

イタリック体，太字，上付き，下付き等にする場合は，個別に手動で設定して下さい．半角カタカナは使用しないで下さい．

ギリシア文字については，① [挿入] → [特殊文字] を用いる，②フォントを「Symbol」に変更する，③数式エディタを用いる，のいずれかの方法で記入して下さい．

4.3□式

式は数式エディタを使用して記入して下さい．文字の大きさは本文の文字と同じにし，数式は中央揃えとして下さい．式番号を入力する場合は，右端に括弧 ( ) を付けて番号を半角文字で記入して下さい．本テンプレートで用意しているスタイル [数式] は，Tab を利用して数式の位置を揃えます．利用に際しては，式の前後に Tab を入力して下さい．

1 行分程度の余白をあける

中央揃え

$$\mu = \frac{F}{W} = \tan\theta \qquad (1)$$

半角文字で右寄せ

1 行分程度の余白をあける

中央揃え

$$\frac{\partial}{\partial\theta}\left\{h^3\frac{\partial p}{\partial\theta}\right\}+\frac{\partial}{\partial z}\left\{h^3\frac{\partial p}{\partial z}\right\}=6\eta U\frac{\partial h}{\partial\theta} \qquad (2)$$

半角文字で右寄せ

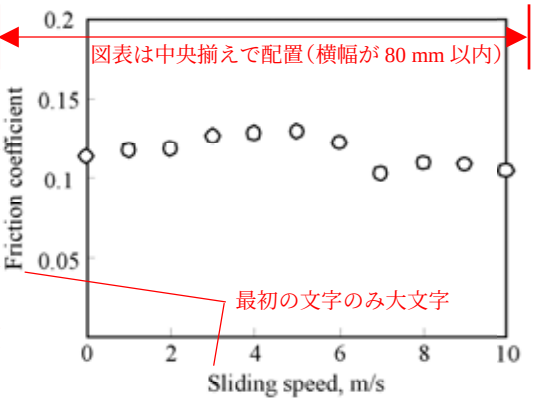
1 行分程度の余白をあける

本文中で式を呼称する場合には，「式(1)」のように記入して下さい．

また，本文中に数式を入れる場合は，$(a-b)/(c+d)$ や $y=\exp(t/r)$ のように，一行に収まる表記にして下さい．

4.4□図

図の大きさは横幅 80 mm（1 段分）を基準とし，最大横幅は 170 mm（2 段分）とします．図中に用いる用語は全て英語で，最初の文字は大文字とし，英数字かギリシア文字の半角文字で表記して下さい．図表は中央揃えで配置（横幅が 80 mm 以内）



軸の説明は，軸に沿って横書きとし，単位がある場合はコンマで区切って続ける

最初の文字のみ大文字

Fig. 1　Sample of figure

図表名が一行に収まる場合は中央揃え

二行以上の場合は先頭の文字の位置を合わせた左揃え

Fig. 2　An example of figure caption that is typed in more than 2 lines

9 ポイント（Times）

図表名と本文との間は 1 行分程度の余白をとる

い．図中の文字をの大きさは 9 ポイント以上にして下さい．

グラフの場合，縦軸，横軸の説明は，それぞれの軸に沿って横書きとし，コンマで区切って単位をその後に続けて下さい．縦軸，横軸の説明は英文の最初の文字のみを大文字とします．

写真の場合には，製版可能な鮮明なものを使用し，必要に応じて比較尺度（スケール）を付けて下さい．

図の割付けは，テキストボックスを用い，最上段もしくは最下段にまとめて配置して下さい．その際，Fig. 1 が表記されているテキストボックスをコピーして使用して下さい．配置の仕方は，テキストボックスの書式設定内にあるレイアウトの詳細設定において，余白を基準として，右揃え，左揃え，上，下の設定をして下さい．

図には内容を的確に表わす題目（図名）を英語でつけて，テキストボックス内の図の下に記入して下さい．その際，スタイルは [図表] に設定して下さい．図名が一行に収まる場合には，中央揃え（Fig. 1 の図名を参照），二行以上の場合には，先頭の文字の位置を合わせた左揃え（Fig. 2 の図名を参照）に手動で設定して下さい．

本文中で図を呼称する場合，文の先頭では「Figure ○」，それ以外は「Fig. ○」として下さい．

4.5□表

表の大きさは横幅 80 mm（1 段分）を基準とし，

左右の段で表記位置を合わせる

図表中の文字は半角文字で表記し，その大きさは 9 ポイント以上
用語の最初の文字は大文字

9 ポイント（Times）

図表は最上段もしくは最下段にまとめて
（文章が途中で中断されない位置に）
割り付ける

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2

Table 1 Sample of table

	Test 1	Test 2	Test 3	Test 4	Test 5	Test 6
Load, N	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0
Sliding speed, m/s	1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0
Viscosity, mPa·s	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	10.0

本文との間は 1 行分程度の余白をとる

横幅が 80 mm を超える図表は両段にまたぐ（最大横幅は 170 mm）

最大横幅は 170 mm（2 段分）とします．表中に用いる文字は全て英数字かギリシア文字の半角文字で表記し，用語の最初の文字は大文字とします．文字の大きさは 9 ポイントとして下さい．

表の割付けには図の場合と同様，テキストボックスを用い，最上段もしくは最下段にまとめて配置して下さい．

表には内容を的確に表わす題目（表名）を英語で付けて，表の上に記入して下さい．その際，スタイルは [図表] に設定して下さい．図名と同様，表名が一行に収まる場合には，中央揃え，二行以上の場合には，先頭の文字の位置を合わせた左揃えに手動で設定して下さい．

本文中で表を呼称する場合，「Table ○」として下さい．

4.6□文献

本文中において文献番号を示す場合には，片括弧) 付きの上付きで，[1)] または [2,3,5 ~7)] のように設定して下さい．上付きの設定は，個別に手動で行って下さい．

文献欄の記入では，スタイル [文献] を設定して下さい．このスタイルを用いることで，自動的に文献番号が振られます．

具体的な文献欄の書式については，雑誌[1,2)]，書籍[3,4)]，プロシーディングスや予稿集[5)]，特許[6,7)]，カタログ[8)]，規格[9,10)]で異なります．それぞれの場合については，本ファイルの文献欄や「論文・速報論文原稿の書き方」を参考にして下さい．

1 行あける

5. おわりに

1 行あける

原稿が完成いたしましたら，原稿にページ番号を記入し，原稿，原稿表紙とも各 5 部ずつ同封の上，下記まで送付して下さい．

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号
機械振興会館内 407 の 2
（社）日本トライボロジー学会

本テンプレートに関するご意見，問題点等のご指摘は，校閲委員会（学会事務局宛）までお願いします．

1 行あける

謝　辞 12 ポイント（ゴシック体）

1 行あける

謝辞がある場合は，「おわりに」と「文献」の間に記載して下さい．

1 行あける

文　献 12 ポイント（ゴシック体）

和文文献では著者は中点で区切る

1 行あける

1) 堀・木村・田中：すべり軸受の潤滑特性，ジュンカツ，2，1 (1970) 16.
2) A. B. Collin, C. Reynold ＆ D. E. Fake: In Situ Studies of Wear Process, ASME J. Tribology, 120, 3 (1995) 513.
3) 会田・今井：トライボロジーにおける実験計画法　第２版，摺永社 (1950) 703.
4) D. Tabor: Friction as a Dissipative Process, Fundamentals of Friction: Macroscopic and Microscopic Processes, ed. I. L. Singer & H. M. Pollock, Academic Publishers (1992) 3.
5) M. Akita: Investigation of the Degradation of Solid Lubricants Exposed to Atomic Oxygen, Proc. Int. Trib. Conf., Yokohama 1995, 1 (1996) 235.
6) 高橋一二三：潤滑機構，特開平 6-12345678 (1994).
7) A. C. Smith: Lubrication Mechanism, U.S. Patent 9876543 (1990).
8) トライボ工業カタログ・045-94951，トライボ工業 (1994).
9) 日本工業規格 JIS B 2405 (1993).
10) NASA SP-8048 (1971).

英文文献では最終著者名の直前は &，他は , で区切る

1 行あける

付　録 12 ポイント（ゴシック体）

1 行あける

付録がある場合は，「文献」の後に記載して下さい．

最終ページは左右の段の高さを合わせ，中央に横線を引く（長さ 65 mm 程度）